



創部 80 周年記念行事、準備状況

10年ぶりの、昔の仲間との、楽しい顔合わせ
記念パーティー 2020年2月16日(日)
道半ば、同期同士誘いあい、多数の参加、お願いします

前回7月会報発行時に、少し早かったですが、出欠票の集約日を8月31日とし、参加のお願いをしましたところ、現在40名強の、参加の返答を、いただいています。

役員会では、前回の70周年参加者74名を目標に、その後、個別に参加のお願いをしています。

今回、12月25日(水)を2次集約日として、今後の準備を進めますので、会員皆さん、同期同士、誘い合い、80周年が成功いたしますよう、多数の参加を、お願いします。

又、今回の行事の費用は、過去の記念行事の繰越金82万円と、今回のパーティ参加費で、行います。

【パーティ】

- 2020年2月16日(第2日曜) 午後1~3時
受付 12:30~
集合写真 12:45~
緊急連絡 小合省三(24期) 080-1250-1556
- 大阪キャッスルホテル6階
大阪市中央区天満橋京町1-1 TEL 06-6942-2401
最寄駅 京阪本線・中之島線「天満橋駅」
大阪メトロ 谷町線「天満橋駅」
- 会費：社会人10,000円
学生 5,000円
- 出欠確認、前回7月会報同封の出欠票で、12月25日(水)までに、前回会報7月号同封の封筒で返信か、下記メールアドレスに返信して下さい。
〒570-0032 大阪府守口市菊水通3-5-3
田中 裕一(31期)
OB・OG会メールアドレス kanri@neyagawahandball.net
電話連絡 小合省三(24期) 080-1250-1556



【記念誌】

今回は作成の労力、費用を鑑み、①記念誌を発行する事 ②簡略化(節約、質素)を、第一方針とし、広告、協賛金募集を行わず、OB・OG会の記念事業積立金内で、記念誌(小誌)を発行することにしました。

コンセプトは、【次の時代へ、平成から令和の世代へ】です。

内容は、前回70周年時の記念誌を引継ぎ、2009~2019年の10年間、世代にして、62~71期の10世代の小誌としました。

各年代のメンバー名、写真、戦績を、掲載します。

その他、8月の出欠票確認時に、特集として募集しました、「心に残る、試合、プレー、一言」を、掲載します。



現役の活動状況

8代目顧問 堀川 美子(27期生)

女子

第74回高校秋季総合体育大会

8月10~17日 参加43チーム

[大阪府全体・オープントーナメント方式]

2回戦 ● 寝屋川 13 - 24 箕面自由

5月のインターハイ予選後、3年生の引退後、2年生5名、1年生2名で、練習を始めました。

基本のフットワーク、パス・キャッチ、シュートの練習から、始めました。

2年生は、昨年から、試合に出場しているのですが、なかなか、ハンドボールの理解まで、いきません。

また、人数が少ないので、6:6や、速攻練習は、男子と合同で、練習をしました。

冷房の効いた、寝屋川市民体育館で練習し、練習試合も、数校としました。

相手チームのディフェンスが、高い位置で、カットをねらいにくるチームになると、全く歯が立たず、あまりいい状態ではないまま、8月の、秋季大会を迎えました。

対戦相手は、泉北高校と箕面自由高校の、勝者ということで、泉北が上がってくると、予想していたのですが、箕面自由が、勝ち上がってきました。

相手チームに、きっちり守られ、点を取られ、寝屋川は、何となく点を取り、圧倒されて、終わりました。

第71回高校新人大会、兼、第43回全国選抜予選大会

10月20日~11月10日

[北ブロック大会・リーグ戦] 参加21チーム

● 寝屋川 9 - 19 北千里

● 寝屋川 9 - 15 摂津

(北ブロック大会・トーナメント戦・進出ならず)

8月の秋季大会後、ハンドボールのオフェンス、ディフェンスの、基本を理解する練習を、再開しました。

しかし、練習では、やれることが、練習試合になると、好き勝手な、プレーになってしまい、合わせる事が、なかなかできません。

45度も、ポストも、サイドも、どうしたらいいのか、解らない状態のまま、秋の新人戦を、迎えました。

北ブロック大会・リーグ戦の、対戦相手は北千里と摂津で、どちらも、体格のよい選手がそろっている、チームです。

いつも、男子と同じメニューで、練習をこなしているのですが、特に試合前には、ディフェンスに重点をおいて、やってきました。

遅攻では、1:1からのフォローができ、よく守れていたと、思います。

しかし速攻では、まだ、誰を見たらいいのかの、判断ができず、簡単に点を取られる、結果となりました。

攻撃では、お互いに、合わそうとしているのですが、相手の思いが、伝わらず、結局、自分勝手なプレーを、してしまうという、状態でした。

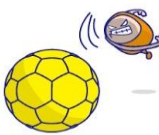
ただ、摂津高校との後半は、7:6で、競り勝っていました。

審判をしてくださっていた、関大北陽高校の先生が、「後半、プレーが、変わりましたね。目覚めたんじゃないですか?」と、言ってくさるほど、ディフェンスも、オフェンスも、うまく、かみ合っていました。

1年生も、いろんな場面で、活躍できていました。

11月になってから、2年生1人が、マネージャーとして、入部してくれました。

プレイングマネージャーとして、活躍してもらいます。





冬のトレーニングが、始まりましたが、男子に負けない理解力と、やる気を出して、頑張っています。

来春のインターハイ予選では、心身ともに、たくましくなっているチームを、目指します。

女子キャプテン 2年生 福田 桃子

私たちは、2年生6人(マネ1名)、1年生2人の計8人で、活動しています。

人数が少ないので、速攻練習や6:6などは、男子に混ざって、練習しています。

新チームとなり、8月の大会の初戦は、箕面自由高校でした。

1年生は、まだ3ヶ月ほどしか、練習していない中での試合で、私たち2年生も、昨年この試合から、出場しなければならず、とてもとまどっていたことを、思い出しました。

1年生を、引っ張って、いかなければならないという思いが、プレッシャーとなり、思ったほど、プレーできませんでした。

昨年、先輩方は、大変だったんだと、改めて痛感しました。

結果は、敗退してしまいましたが、この試合を通して、個人の課題や、チーム全体の課題を、見つけることが、できました。

秋の新人戦の、北ブロック大会・リーグ戦では、北千里高校、摂津高校と、対戦しました。

男子と同じように、練習しているのに、思ったように動けず、ミスをしてしまい、北千里にも、摂津高校にも、負けてしまい、悔しい気持ちで、いっぱいです。

ただ、2試合目の、摂津高校の後半は、7:6の1点勝ちで、終わりました。

ミスがなくなり、私たちのリズムが合えば、対等に戦えるという、自信につながりました。

これから来春に向け、8月の夏の大会、秋の新人戦の、悔しい思いをバネに、見つけた課題を克服し、自信を持って、来春の大会に、向かっていけるように、練習を頑張っていきます。



男子

第74回高校秋季総合体育大会

8月10~17日 参加69チーム

[大阪府全体・オープントーナメント方式]

2回戦 ○ 寝屋川 25 — 25 金岡
(7mスローコンテスト)

2 — 0

3回戦 ● 寝屋川 11 — 41 大阪借星学園

2年生8名と、1年生8名で、新チームは、夏の大会に向け、練習を始めました。

寝屋川高校の夏休みが、8月24日からで、昨年同様、恒例の但馬ドームでの、合宿の日程に合わず、春休みに、延期することになりました。

今年の夏も、異常に暑かったので、とにかく寝屋川市民体育館を押さえ、冷房の効いた、恵まれた環境の中での練習や、練習試合をすることが、できました。

新チームの初戦となる、秋季大会は、金岡高校でした。

金岡高校は、2年生主体のチームで、経験者や、体格のよい選手が多く、アップをしているのを見ると、金岡は、強そうだという印象でした。

寝屋川は、2年生は昨年から、試合には出場しているものの、「相手に、ならないかな?」と、思っていました。

しかし、試合が始まると、点を取られれば、取り返すといった、白熱した試合展開で、前半も、後半も、競った試合が、続いていました。

後半、終了間際に、寝屋川が2点リードしていたのに、余計な反則をして、退場を与えられ、同点にされました。

その時、オフィシャルに、残り時間を聞くと、「あと15秒」と、言われました。

私は、退場者の残り時間だと思って、点を入れられないことを、考えていたのですが、終了の合図の笛が、鳴ってしまいました。

オフィシャルの先生に、「作戦タイム取るのかと、思った」と言われ、「ああ、15秒あったら、フォーメーションで、1点取れたかもしれないのに」と、反省しました。

まさか、7mスローコンテストになるとは、考えていなかったもので、誰が打つか、順番はどうするかを、その場であわてて、決めることになりました。

また、キーパーも、本来のキーパーではない方が、背が高いからという理由で、決めました。

結局、相手は枠からははずす、キーパーに、あてるという結果で、誰にも、点を決められることなく、寝屋川の勝利となりました。

今回の目標は、「金岡に勝って、大阪借星学園と、試合をする」でした。

中央大会の4強チームとは、どんなものなのか?を、体験できる機会は、早々あるものではないので、金岡に勝った、この1勝は、大きかったと思います。

借星学園は、同じ高校生とは、思えない体格で、試合開始に並んだ地点で、寝屋川は、圧倒されていました。

しかし、いざ試合が始まってみると、手渡しや、速攻や、ロングシュートなど、全く歯が立たないかと思っていたのが、決まりました。

また、デフェンスでも3-3で、前の3人が、執拗に守り、遅攻では、よく守れたのではないかと、思います。

今回、相手チームが本気になる、プレーができたことは、大きな成果でした。

結局、自分達の、ちょっとしたミスから、相手に、簡単に速攻され、大差がついてしまいましたが、部員達には、大きな自信につながったのでは、ないでしょうか。

第71回高校新人大会、兼、第43回全国選抜予選大会

10月20~11月10日

[北ブロック大会・リーグ戦] 参加33チーム

○ 寝屋川 17 — 15 三島

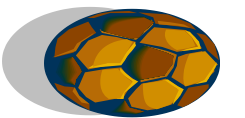
○ 寝屋川 23 — 14 都島工業

[北ブロック大会・トーナメント戦]

1回戦 ○ 寝屋川 16 — 15 北千里

2回戦 ● 寝屋川 18 — 27 大商学園

(中央大会・進出ならず)



10月の新人戦に向けて、練習を再開したところ、ポイントゲッターの、左利きの選手が、股関節の炎症で、全治6ヶ月と診断され、新人戦の出場は、無理となりました。

また、1年生のキーパーが、偏頭痛のため、学校へ来れない、状況が続く、新人戦は、上を目指せるかもという夢は、夢で終わってしまうのかと、思っていました。



ただ、練習試合を、組んでみると、1年生が、試合で使えることがわかり、また、他の2年生が、思った以上に、ハンドボールを理解してきていて、点を取れるチームに、なっていました。

公式戦が、始まる少し前から、キーパーも、体調を取り戻し、キーピングも、以前より、反応がよくなっていました。

新人戦では、三島高校と都島工業高校と、北ブロック・リーグ戦で、戦うことになりました。

初戦の三島戦では、数日前に行った練習試合中に、足を捻挫した2年生が、試合に出れず、やはり今回は、絶望かと思っていたのが、接戦で、途中リードされることもありましたが、勝つことができました。

次の都工戦では、怪我の2年生も復帰し、速攻や遅攻で、点を取ることができ、のびのびと試合を、楽しんでいました。

私自身、今回は北ブロック・リーグを、勝ち進んでいくのは、難しいだろうと思って、次に対戦するのは、どこのチームかは、全く考えていませんでした。

北千里高校の顧問の先生が、試合を見ておられたのは、北ブロック・トーナメントで、寝屋川と対戦が、決まったからなのだとわかったけれど、北千里の試合は、全く見ることなく、試合にのぞみませんでした。

北千里も、三島や都工と、同じようなチームで、接戦の末、勝つことができました。

この日は、中央大会進出をかけて、大商学園との試合が、ダブルで組まれていました。

しかし、北千里との試合後、キャプテンが、腰痛で走れないと、訴えてきました。

せっかく、中央大会を、ねらえるところまで来たのに、キャプテンが、試合に出られないということは、試合にならないんじゃないかと、がっかりきたとき、急に、空模様が怪しくなり、雨で順延、となりました。

寝屋川に、どれだけ運が、味方してくれているのかと。

大商学園は、ビデオで、試合を分析してくるので、4日間、攻め方を変えて、徹底して、練習しました。

試合では、前半緊張のためか、全く、足が動かず、試合慣れしている、経験者の多いチームの動きに、対応できず、前半で9点も差を、つけられてしまいました。



しかし後半は、寝屋川も慣れてきて、練習してきたことを1つ1つ、確実にやっけて行こうと、オフェンス面でも、ディフェンス面でも、頑張り、相手チームに、思うように、攻めさせなかったため、後半は13:13の、同点で終わりました。

今回、いろいろなアクシデントがありましたが、試合を通して、多くのことが学べ、自信へと、つながってくれたと思います。

この冬は、基礎練習に、しっかり取り組み、もう少し、高いところを、目指していきます。

1年生も、着実に伸びていますが、2年生を、抜かず勢いで、練習に取り組んでほしいと、思っています。

来春4月の、インターハイ予選には、しっかり、身体も心も鍛え、たくましいチームになるよう、期待しています。

男子キャプテン 2年生 中西 祐太

現在、僕たちは、2年生8人、1年生8人の、計16人で、活動しています。

入部以来、1人も欠けることなく、さまざまな練習ができ、他校との練習試合などで、課題を見つけ、改善できるよう、日々練習しています。

今春のインターハイ予選、3年生の先輩方と一緒にプレーできる、最後の大会では、摂津高校、茨木高校と、対戦しましたが、北ブロック・リーグ戦突破を、果たすことはできませんでした。

新チームになり、8月に行われた秋季大会では、1回戦で、金岡高校と対戦しました。

試合は、7mスローコンテストまで、持ち込まれましたが、結果、勝利を収めることが、できました。

そして2回戦では、大阪偕星学園とあたりました。

しかし、相手の気迫に押され、敗退してしまいました。

滅多に対戦することがない、中央大会シード校の強豪校との試合で、自分達との差や、課題を、見つけることができました。

秋の新人戦の北ブロック・リーグ戦では、三島高校、都島工業高校と対戦し、どちらも僅差で、勝利することができ、リーグ戦突破を、果たしました。

そして、北ブロック・トーナメント初戦は、北千里高校との対戦で、これも勝利することができ、大阪府・中央大会出場に近づきましたが、大商学園の壁は厚く、夢の中央出場に、一步届きませんでした。

普段の練習から、自信を持ってプレーし、ハンドボールを、より好きになって、楽しみたいと、思っています。

OB・OGの方々が、応援して下さることや、ご指導いただけることに、感謝し、精一杯、練習に、取り組みます。

現役の状況

学年	男子	マネージャー	女子	マネージャー	合計
3年	3	1	3	0	7
2年	8	0	5	1	14
1年	8	0	2	0	10
合計	19	1	10	1	31



27回 総会報告

2018年度(平成30年7月1日～令和1年6月30日)のOB・OG会総会が、8月24日(土)、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後1:00からセミナーハウス(旧、北水会館)3階で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

[議題]

1. 26期(平成29年度) 活動報告
2. 26期(平成29年度) 会計報告
3. 26期(平成29年度) 監査報告
4. 27期(平成30年度) 活動計画(案)
5. 27期(平成30年度) 予算(案)
6. 27期(平成30年度) 役員体制
7. 80周年記念行事について





第26期(平成30年7月1日～令和1年6月30日) 活動報告

日時	活動	会場	参加者
2018 7 14 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	12名
8 25 土	第26回OB・OG会総会	寝屋川高校・セナーハウス	9名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	46名
10 13 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	5名
12 8 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	9名
2019 1 12 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	27名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セナーハウス	30名
2 26 火	71期生(2019.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セナーハウス	24名
3 24 日	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	9名
5 18 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	9名

第27期(令和1年7月1日～2年6月30日) 活動計画(案)

日時	活動	会場	参加者
2019 7 13 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	9名
8 24 土	第26回OB・OG会総会	寝屋川高校・セナーハウス	12名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	39名
10 5 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	6名
12 7 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	名
2020 1 11 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セナーハウス	名
2 16 日	80周年記念パーティ	京阪天満橋・大阪キヤスルホテル	名
2	72期生(2020.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セナーハウス	名
5 16 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	名

[令和1年度役員] 47名

会長	寺西啓三(20期)	小合省三(24期)
副会長	菊地和代(21期)	
幹事長	田中裕一(31期)	
幹事	木村慶次(18期)	甫田裕佳里(29期)
〃	久木久美子(33期)	大塚万里子(33期)
〃	泰間伸明(35期)	稲葉清志(43期)
〃	谷和哉(44期)	中東大輔(58期)
〃	戸沢千咲子(59期)	田村英明(59期)
〃	青木達哉(64期)	仲野美乃里(67期)
〃	日高沙耶(67期)	岩崎夏子(67期)
〃	高橋宜希(67期)	高橋大地(67期)
〃	加藤匡裕(67期)	足立実央(68期)
〃	森野聖鈴奈(68期)	上木原裕依(68期)
〃	末次健太郎(68期)	大前空(68期)
〃	森脇裕司(68期)	石森みなみ(69期)
〃	浅田峰花(69期)	赤城真菜(69期)
〃	井尻将聖(69期)	森本豊(69期)
〃	長谷川大輝(69期)	山本璃奈(70期)
〃	出口萌菜美(70期)	西畑柚香(70期)
〃	山本みなみ(71期)	植田成海(71期)
〃	清水蒼(71期)	島田悠河(71期)
〃	永田康喜(71期)	山田琉聖(71期)
会計	井上武久(23期)	
会計監査	今堀太逸(21期)	吉田雅子(29期)
相談役	津熊美智子(18期)	大森孝志(31期)

平成30年度収支報告書		
(H30.7.1~R1.6.30)		
(単位:円)		
項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	335,857	
会費収入	286,000	30年度 @5,000×55名、@3,000×2名
特別会費	24,000	ナイターハンド会費 @1,000×14名 新年ハンド会費 @1,000×10名
雑収入	10,002	寸志 10,000円(木下トシ子様) 貯金利息 2円
計	655,859	
(支出の部)		
事業費	67,375	ナイターハンド会費費 26,663円 新年ハンド会費費 27,213円 OB・OG会入会式 3,499円
援助金	50,000	現役援助金
通信費	155,752	会報・各種案内郵送料
会議費	0	
運賃費	57,038	封筒代他 49,612円、HP運営費 7,426円
備用品費	5,183	事務用品
雑費	4,600	郵便振替手数料
慶弔費	0	
記念事業積立金	0	
計	329,948	
差引剰余金	325,911	
記念事業積立金 (単位:円)		
項目	金額	摘要
前期繰越金	520,000	
繰入金	0	
取崩金	0	
翌期繰越金	520,000	
以上、平成30年度の収支報告を致します。 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計 井上武久 印		
上記の収支報告書は、平成30年度の収支の状態を正しく表示していると認めます。 令和1年7月31日 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計監査 今堀太逸 印 吉田雅子 印		

令和元年度予算書		
(R1.7.1~R2.6.30)		
(単位:円)		
項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	325,911	
会費収入	300,000	元年度 @5,000×60名
特別会費	30,000	@1,000×15名 2回
雑収入		
計	655,911	
(支出の部)		
事業費	62,000	サマーハンド・新年ハンド会費費他 55,000円 OB・OG会入会式 7,000円
援助金	100,000	令和2年現役援助金50,000円他
通信費	156,400	各種案内郵送料
会議費	0	
運賃費	73,000	会報作成費(封筒他)・HP維持費
備用品費	5,000	事務用品他
雑費	19,500	振替手数料他
親睦会活動費	200,000	
記念事業費繰入金	0	
計	615,900	
差引剰余金	40,011	

2019年 盆サマーハンド 報告

令和元年、初めての行事である、盆サマーハンドボールが、8月24日(土)OB・OG会総会後に行われました。

グラウンドでの、親睦試合では、現役男子16名、女子6名、OB男子4名、OG女子2名と、少ない人数でしたが、女子は、現役男子1年との、試合を組んだり、また当日、他校生の参加もあり、猛暑日ではありましたが、OB・OGも久しぶりに、汗を流していました。

懇親会には、赤星先生(7代目顧問)・堀川先生(8代目顧問)にも参加いただき、現役22名と、OB・OG17名の、計39名で、巻



きずし、飲み物を食べながら、恒例のビンゴゲームで、楽しく、親睦をはかりました。

2020年 新年正月ハンドボールの案内

2020年東京オリンピックイヤーの、新年正月ハンドボールを、下記の日程で、行います。

東京オリンピックの、ハンドボール出場を祝って、久しぶりに寝屋川高校のグラウンドに、集まりましょう！

現役選手との交流試合、毎年大好評の、温かい豚汁とぜんざいをいただき、ともに語りましょう

そして、恒例のビンゴゲームでは、素晴らしい景品をゲットし、中学時代のクラブ活動や、将来の夢を、語り合しましょう！

勉学やアルバイトに、少し疲れてきた、学生さん、仕事を一生懸命、頑張っている社会人の方、家庭の息抜きを、たまにしたい奥様！現役のパワーをもらい、元気になりましょう！

御参加、お待ちしております！

日 時	2020年1月11日 (土)
親睦試合	1:00~3:00 ハンドボールコート
新年会	3:30~5:00 セミナーハウス3階
2次会	5:30~ がんこ寿司(寝屋川店)
会 費	1,000円

<雨天の場合>

新年会	1:00~2:30 セミナーハウス3階
2次会	3:00~ がんこ寿司(寝屋川店)

会計よりの、御礼とお願い

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

次掲させていただきました、令和元年度、会費納入をいただきました方には、改めまして、御礼申し上げます。

尚、納入者名は、令和元年10月31日現在で、作成しております

ので、それ以降に納入の方の、未掲載につきましては、ご容赦願います。

現在、OB・OG会は、会員の増加により、会報発送等の費用等が、年々増加しております。

一方、会費納入者は増えず、財政状況は、非常に厳しい状態と、なっています。

今後とも、本会の発展、並びに、円滑な運営を行う為、年会費の払い込みにつきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みは、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みで、お願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注) 金額欄には、「〒」を書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に対してのご意見や、近況報告など、ご自由に、ご利用ください。

・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久 (イノウエ タケヒサ)

・年会費：社会人 5,000円

学 生 3,000円

令和間元年度(2019.7~2020.6月)

会費納入者

令和 1.10.31 現在

3期 大槻明子 森広洋子 中嶋直彦

5期 水野節子

6期 多田恵美子 望月滋乃

7期 金馬桂子

9期 岸本悦子 長澤邦子

12期 尾亀敬子 若井比沙子

- 16期 大西武三 新堂達夫
- 17期 中田順子 川口宗一郎
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 平井晴美 吉田裕紀
- 20期 仲尾由紀子 井川隆三 寺西啓三
- 21期 菊地和代 中西量子 今堀太逸 松尾信一郎
- 22期 古本まみ 川原誠
- 23期 井上武久 藤田哲
- 24期 小合省三
- 25期 竹内貴洋子
- 26期 地原繁信
- 27期 渡部安晴
- 28期 木崎智子
- 29期 甫田裕佳里 興井隆
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 34期 吉川好美
- 36期 正田文子
- 44期 中井美和 谷和哉
- 59期 戸沢千咲子



訃 報 連 絡

9期 岸本 悦子 (旧姓、吉原) 2019年5月5日逝去

2018.08 娘さんより、会員たよりいつも、大変、お世話になります。

私は、母と同居していた、娘です。

母は、令和元年5月5日に、亡くなりましたので、お知らせ致します。

生前は、ハンドボール部での事、色々話していました。

母の、青春の思い出の大半を、占めていたのだと思います。



今でも、仲良くさせていただいている、お友達とは、とても楽しそうでした。

今まで、お世話になりました。
ありがとう、ございました。

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の様子・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話を、募っています。

次回発行の会報で、掲載させていただきます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、事務局・寺西（20期）までお送りください。

〒573-013 枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三
携帯 090 - 5887 - 8777
自宅ノートパソコン kkteranishi@yahoo.co.jp



会員だより

3期 森広 洋子（旧姓、岡崎）

何とか無事に、毎日過ごす事が出来たら、有難いと思う毎日ですが、テレビのハンドボールの試合は、なつかしく、見ています。

(2019.7月)

30期 野際 登美子（旧姓、阪長）

いつも事務局の方々には、お世話をいただき、本当にありがとうございます。

私たち30期女子は、現役の時、たいした戦績も残せなかったのですが、結束力は固く、子育てに一段落した、40代半ばから、年に一度の、1泊旅行をしています。

今年は還暦の年となり、「記念に！」と、初海外旅行を計画し、台湾へ2泊3日の旅に出ました。

話題は、親の介護から、自分達の健康の話と、移ってきましたが、街を歩けば、若い子達に負けないで、早足で動きまわり、食べて、

しゃべって、でも夜ふかはせず、、、と、楽しい3日間を過ごしました。

出会ってから、45年経ちましたが、今も続く、大切な関係を与えてくれた、寝屋川高校ハンドボール部に感謝です。

(2019.7月)

<会員通信>

リレー伝言板

23期 中澤 孝雄

今年の5月に、寝屋川高校23期の、学年同窓会がありました。高校卒業以来、久しぶりに、女子ハンドボール部の名賀さん、竹平（旧姓、谷垣）さん、鎮西さんと、再会しました。

男子ハンドボール部の、藤田君、井上君と6人で、記念写真を撮ったりして、懐かしく、楽しい時間を、過ごすことができました。

しかし、私たちの学年で、20数名もの物故者がいたことには、少なからず、衝撃を受けました。

わが男子ハンドボール部でも、共に汗を流した方で、2年先輩の、キャプテンをされていた岡市さん、1年先輩の糸永さんが、お亡くなりになっています。

また、男子ハンドボール部で、初の女性マネージャーだった、同期の杉山さんも、若くして亡くなっています。

岡市さんは、物静かで、「謹厳実直」を、絵にかいたような方だったと、記憶しています。

100本ノックを受けた時の、壮絶な様子を、先輩からお聞きした時は、感銘を受けました。

糸永さんは、弾けるような笑顔が印象的で、試合では、度々、強烈なシュートを止める、ナイスキーパーでした。

長距離走が、速かったことも、覚えています。

杉山さんは、3年間、嫌な顔一つせず、黙々と、マネージャーの仕事に、徹してくれました。

試合での、ハーフタイムに食べた、輪切りのレモンの味を、思い出します。

皆様のご冥福を、心よりお祈りいたします。

ハンドボール部に入った、強い動機は、ありませんでした。

知り合ったばかりの、同級生4人で、校庭の部活を、見学していた時に、勧誘され、4人一緒に、入部していました。

先輩たちの勧誘が、良かったのか、4月中に、同期の新入部員は、14人になっていました。

入部後すぐに、先輩たちの、練習試合がありました。

望月先生（4代目顧問）の、熱血指導、あの大きな声を、初めて聞いた時は、驚きでした。

「早く、戻れ!」、「声を、出さんか!」、今も、記憶の中では、健在で、怒鳴っておられます。

中学で、運動クラブの、経験がなかった私は、練習についていくのが、精一杯でした。

3年生が、引退されてから、さらに、練習がきつくなり、夏休みの、校内合宿が、ピークでした。

合宿前は、みんなと寝泊まりできるのが、うれしく、楽しみに、していたぐらいでした。

寝起きのロードワーク、炎天下のダッシュ、灼熱のコート、滴る汗、極限までの、喉の渇き、延々と続く、練習、湧き出るように、姿を現すOB、ナイター練習。

早朝から、夜まで、練習漬けでした。

やがて、食欲も無くなり、無理矢理、詰め込んでいたような、状態でした。

ただ、ひたすら、合宿が、早く終わることを、願っていました。

1年生の時の合宿は、まだ体力のなかった、私にとっては、まさに地獄でした。

雨の日の、校舎内での、柔軟（筋トレ）も、苦手でした。

翌日には、筋肉痛で、階段の上り下りにも、苦労しました。

冬場には、毎日のように、一本松や、成田山、時には、四条畷神社までの、ロードワークがありました。

締めは、上り坂での、うさぎ跳びでした。

高校時代の私たちは、星飛雄馬より、うさぎ跳びをしたのでは、ないでしょうか。

14人いた同期も、次々とやめていき、1年生の2学期末には、6人になっていました。

駅までの途中にあった、小さなパン屋さんが、私たち同期の、練習後のオアシスでした。

ファンタより、量が多かった、チェリオを飲み、一番安かったパン（バターリッチ?）を、1つ食べました。

これが、私たちの、「青春の味」です。





その後、漫画週刊誌の発売日には、本屋に寄り、立ち読みしました。

真っ黒に、日焼けした、汗臭い、高校生が6人も並んで、読んでいましたが、注意された、覚えがありません。

私は、毎週、「あしたのジョー」を、楽しみにしていました。

当時、北岡先生(5代目顧問)が、顧問をされていた都島工業とは、よく合同練習を、しました。

都島工業は、とにかく、明るいチームで、お互いを、ユニークなあだ名(ジ、タメ、キチ等々)で、呼び合っていました。

よく声が出て、活気ある練習をしていて、一緒に練習をするのが、楽しかったのを、覚えています。

実力的には、均衡していて、練習試合の戦績は、ほぼ五分でした。

私たちは、すぐに仲良くなり、3年生の時には、「枚方高校を、やっつけて、一緒に、インターハイに、行こう」と、声を掛けてもらったりも、しました。

私たちの同期には、傑出した選手は、いませんでしたが、葛木、杉本の正副両キャプテンを中心に、まとまりのあるチームでした。

2年生の1月にあった、新人大会では、準決勝まで進み、枚方高校に負けて、3位でした。

次の公式戦、3年生5月の、大阪府民体育祭では、決勝まで進み、またもや、枚方高校に負けての、準優勝でした。

残念ながら、肝心のインターハイの予選では、早々と敗退し、引退することに、なってしまいました。

余程、ショックを受けたのか、高校最後になった、試合の記憶がありません。

尚、私たちが3年生の、1970年のインターハイには、枚方高校と都島工業が、大阪代表で出場しています。

練習の辛さに、やめようと思ったことも、1度や2度では、ありません。

しかし、やめなくて、本当に良かったと、思います。

辛かった練習も、今では、懐かしく、良き思い出と、なっています。

今でも続く、同期の仲間との縁を、つないでくれたハンドボールに、感謝します。

供に汗を流した、先輩、後輩の皆様、ありがとうございました!

厳しくも、思いやりを持って、ご指導いただきました、望月先生、

OBの方々に、深く感謝申し上げます。

次のリレー伝言板は、中学の先輩でもあり、OB・OG会の副会長をされている、21期の菊池



(旧姓、岩本)先輩か、強烈なシュートを打っておられた、22期の宮崎先輩に、お願い致します。



38期 藤沢 雪美 (旧姓、筒井)

ドラミさんから、バトンをいただきました、38期ラムこと、藤沢雪美(旧姓筒井)です。

現在は、草津市の小学校で、非常勤講師をしています。

高校卒業後、大学、一般企業を経て、今の仕事に、就くことができました。

子どもたちは、元気で、毎日いろんな表情を、見ることができます。思うようにいなくて、切なくなることも、ありますが、思わず、笑顔になれたり、ちょこっと、感動できたり、毎日楽しいです。

考えてみると、今の、私があるのは、ハンドボールとの、出会いがあったからこそだと、感謝しています。

ハンドボールは、高校から、始めました。

中学の時の部活の先輩に、見学に来てねと、声をかけていただいて、入部したのだと、思います。

初めは、1人でしたが、その先輩がおられて、心強かったことを、覚えています。

まもなく、同期も増えて、先輩方に、ニックネームをつけていただいて、部活になじんで(?)いったのだと、思います。

わりとみんなが、自分の名前とは、何の関係もない、ニックネームがついていて(たまに、下の名前の子もいたとは、思いますが)、覚えるのが、大変でした。

でも、何十年たっても、そのニックネームで、呼び合うことができ、すぐにその時代に、戻ることのできる、大切な、大好きな、ニックネームになりました。

今でも、先輩が、後輩に名付ける伝統は、続いているのでしょうか?

練習の始めと、終わりには、ハンドボールコートに、向かって礼、これも、新鮮でした。

挨拶や礼儀なども、学ぶことができた、3年間だったのかも、しれません。

これも、今でも、続いていますか?

さて、練習で、印象に残っていることは、まず、始まりの、ランニングです。

独特の、掛け声があって、うまく声が出せず、自分の番が、回ってくるのに、ドキドキしていたことを、思い出します。

そして、基礎練習。

フットワーク、2人組になつての、筋トレ。

パス練習では、キャッチミスをしないように、ドキドキ。

三角パスで、ミスをすると、先輩から「キャッチー!」と、声が飛んできました。

のちに、自分も言うように、なるのですが…。

どれも、初めての、経験でした。

さらに、初めてだったのが、バーベルを使つての、ウエイトトレーニング。

私たちの、トレーニングの様子は、女子ラグビー部などと、陰で言われるほど、たくましい、姿だったようです。(笑)

攻撃練習や、ディフェンス練習では、北岡先生(5代目顧問)が、ていねいに説明してくださっていたのを、思い出します。

わたしは、その説明が面白くて、笑いを、こらえていたり、時には、その説明が長くて、何が何だか、分からなくなったり、していました。

冗談かと思えるような、ディフェンスのこつも、教えていただきました。

試合前には、にんにくを食べてきて、相手を嫌がらせると、いいとか、こっそり、ポストの足を、踏むといい、相手の腕を、わきに挟んで、押さえておくといい、などなど。

でもそれらは、結構、大事なことだったんだなあと、後にわかりました。

長くなりました。

試合のことは、また、別の皆さんに、たくします。

3年生の時には、大阪の選抜チームに、入れていただき、国体出場という、貴重な経験を、させていただきました。

ありがとう、ございました。

寝屋川高校のチームを、引退してから、選抜チームの練習が、始まりました。

夏休みの合宿中に、日航ジャンボ機の事故が、あった年で、印象的でした。

9月になると、平日、授業が終わってから、私学の強豪高校へ、練習に行きました。

通学が、徒歩だった私は、電車に乗ることも、あまりなく、定期券を持ったのも、はじめてでした。

実業団へ、練習試合に行った時には、練習中トイレに、行きたいという、走って汗に出せ…とか、好きな時に、水を飲んでではなく、コートにまく、水の入ったバケツに、タオルを落とし、その夕





オルを、口へ…なんて、こともあり、強豪チームの、すさまじい練習に、驚きを隠せませんでした。

もちろん、ずいぶん昔のことで、今では、考えられないことだと、思います。

すごい経験を、させてもらったと、振り返ります。

そんな、いろいろな経験を経て、大学へも、進学できたと、思っています。

そして、今の私に、つながっています。

ありがたいことです。

練習はきついし、試合もこわかったけど、みんなで、よくがんばって、やっていたなあと、思います。

それは、たくさんの、なかまの、おかげだと思います。

たくさんのことを、学ぶことができたし、たくさんの場所へ、行くこともできました。

今でも、ハンドボールを通して、できたなかまとは、つながっています。

一生の、なかまです。

これからも、大切にしていきたいと、思います。

次のバトンは、1つ先輩のキャプテン、あんずさん、藤本未穂子(旧姓、坂口)さんか、同期の男子キーパー、木村直宏さんへ、お願いできればと、思います。

よろしくをお願いします。

今後の、会員みなさんの、ご健康と、ご活躍を、祈念いたします。

このような機会を、ありがとうございました。



39期 東條 剛

同期の杉山めぐみさんから、バトンを受け取った、39期の東條です。

当時は、男子キャプテンを、務めさせていただきました。

卒業後は、ハンドボールから遠ざかり、大学では、合唱団に入団したということで、驚かれた方も、おられたかと思いますが、やはり、体を動かすのが、好きな性分から、現在は、走ることにハマり、様々なマラソン大会に出て、楽しんでます。

昨年、フルマラソンを走ってからは、毎月150km、月に1回は30kmを走るのが、ルーティーンとなり、出張時にも、必ずシューズ持参で出かけて、ジョギングするのが、習慣の1つとなっています。



知らない土地を、走るの、本当に楽しいので、おススメですよ。さて、高校時代の思い出ですが、まず、記憶で、印象に残っているのは、入部当初の事柄。

39期生の男子は、最終的には、14人となりましたが、4月時の1年生は2人だけという、寂しい期間が、ありました。

毎日、部活に行っても、練習前に、2人でキャッチボール。

「このまま、誰も入らんかったら、やめようか?」と、いうくらい寂しく、春季大会まで、2人だけだったので、もう一人の荒木君は、残念ながら、バレー部に行ってしまいました。

結局、GW後に、次々と部員が増え、結局は、同期だけで、2チームできる人数の部員数となり、安堵したのを、覚えています。

4月当初は、少ない部員数でしたが、1つ上の38期生は12人、1つ下の40期生は18人と

大所帯でしたので、賑やかな、部活でしたね。

この大所帯の難点は、休憩時の、水飲み。

当時は、水筒を持ってくる人は、誰もおらず、多目的ホール横の、水飲み場が、唯一の、水分補給の場で、休憩開始の号令後、ウォーターカーラーを目がけて、先輩・後輩関係なく、競争していました。

喉を乾かした、30人近くが、少しでも早く、冷たい水を、飲みたい思いは、皆同じで、必死に、走っていましたね。

少しでも早く、ウォーターカーラーに辿り着くため、休憩のタイミングが、近いと察すると、円陣を組むときも、多目的ホール側に、位置取りをしていたことや、猛ダッシュ後に、一番になると、息切れして、水が飲めないため、2~3番目を、狙って並んだことは、何故か、今でも、忘れない思い出と、なっています。

それほど、苦しかったのでしょうか。

部活自体は、平日は、定時制の授業が始まるまで、土曜日は、午後から、日曜・祝日は、朝から晩までと、年間通じて、ほぼ休みなしで、取り組んでいましたので、肉体的にかなり、鍛えられました。

私の、今でも「無尽蔵」と言われる、体力は、そのときに、培われたものであることは、間違いありません。

中でも、鍛えられたのは、米原での、3泊4日の夏合宿。

朝食前の、キャッチボールから始まり、練習試合が終わる、夕方まで、ひたすら、体を動かし続けるという、キツイ毎日でした。

「この昼食を、食べればあと、半分」、「この練習が、終われば、あと1日」と、不純な思いを、抱きながらでしたが、「どんなに、苦しいことでも、必ず、終わりがある」と、悟ったのは、このときでした。

この考えは、受験時や、辛い仕事の時に、大いに活かされており、苦しいときは、必ず、遠くに見える、トンネルの小さな出口を、イ

メージするように、しています。

時間経過とともに、その出口が、少しずつ大きくなり、気が付いたときには、全てが解決する、そんなイメージ。

昔の、辛い練習を、乗り越えたことが、裏打ちされた自信が、根底となり、不思議と、何でも、乗り越えられるような、気分になります。

部活を、やっていたからこそ、実に着いた、一種のストレス解消法ですね。

このことを、思い描くたびに、部活のありがたみを、感じています。

とりとめのないことを、書き連ねましたが、ハンド部での高校生活は、物事の捉え方や、考え方に、大きな影響を、及ぼすものでした。

今では、美化される、日々があり、充実した日々を、送ったからこそ、「やるからには、全力で」と、いう考えに至り、今でも、その考えで、様々なことに、取り組んでいます。

青春の真っ只中におられる、現役に皆さんには、是非、思いっきり、目の前にある、現実を乗り越え、限られた、一瞬一瞬を、大切にしたいと、思います。

以上で、リレー伝言を、締め括らせて頂きますが、このバトンは、同じ39期生の、男子副キャプテンだった、東門君か、女子キャプテンだった、福原さんに、渡します。



50期 寺内 夕希(旧姓、平松)

同期の良田(旧姓、磯田)さんから、バトンを受け取りました、50期生の寺内(旧姓、平松)です。

実は、良田さんは、私の小学校で、初めてできた、お友達第1号!!でも、あります。

その後、同じ寝屋川高校に進み、3年間、このハンドボール部で、キャプテンと副キャプテンとして過ごし、今回このように、指名を受け、リレー伝言板へ、寄稿させていただくことは、改めて、これもご縁なのかなと、感じています。

同じ50期生ですので、当時の様子は、前回キャプテンが、しっかりとまとめてくれた、とおりで。

そして、改めて気付いたのですが、当時の記憶が、ほとんどない…と、いうことです。

元々、持ち合わせた「忘れん坊」を、これまで、若さで乗り切ってきましたが、最近では、本来の姿





が出てきてしまっているようで、ハンドボール部と一緒に過ごした、みなさんのお名前も出てこないかも。

お会いした時には、必死に思い出そうとする心の様子が、きっと、顔に出ると思いますが、どうぞ、ご容赦ください。

そんな中、思い出されるのは、ハンド部（こちらの呼び方の方が、しっくりきますね）に、入部したきっかけです。

良田（磯田）さんと一緒に、各クラブの練習の様子を見に行き、その当時の部員数は、そこまで多くはなかったと思いますが、先輩がみなさん、明るく、優しく、親しみやすい方々ばかりで、「ハンド部は、未経験者ばかりだから、大丈夫！！」と、言ってくださったからと、記憶しています。

練習について、思い出されるのは、やはり夏の合宿が、とっても暑かった！！こと。

私は、日焼けしやすい方で、ハンド部に入り、初めて自分で、日焼け止めを、購入しましたが、休憩時間に、塗りなおしても、すぐに汗で流れ落ちてしまう、始末。

自分史上、ハンド部時代が、一番黒かったのですが、これは、みなさんも同じではと、勝手に思っています。

その頃も、直射日光と、グラウンドからの照り返しで、かなりの暑さでしたが、それから20年程経ち、最近、最高気温も上がっていますので、現役世代のみなさんは勿論、先生方も、熱中症予防に、配慮しながらの練習は、私たちの時代とは、また別の、大変さがあるのではないかと、思います。

どうぞ、体調に気を付けつつ、今しかできない思い出を、たくさん作っていただければと、思います。

さて、私のハンドボールの、腕前ですが、残念なことに、決して上手ではなく、むしろ、今になって、冷静にみると、実は、向いていなかったのでは？と、思うほどです。（指導して下さった先生、先輩方、すみません）

背も低く、握力もなくで、ボールは、松ヤニを付けても、結局、最後まで掴みきれず、よって肝心な時にも、シュートが決まらないといった、部員でした。

最近、娘（小学生）が運動会の、かけっこ練習で、「今日は、●番やったけど、本番は、1番を目指すねん！！」と、話すのを聞き、そういえば、私は、昔から走るの、短距離、長距離共に、早い方だったと、ふと思い出しました。

そして、もしかして、陸上部に入っていたら、もう少し、結果を残せていたかもなあと、割りと真剣に、考えてしまいました。（ハンド部のみなさん、陸上部のみなさんも、ごめんなさい）



ですが、当時は、そんなことは、全く思わず、仲間たちと、楽しい時間を、過ごしていました。

同じく最近、スタジオジブリの映画、「崖の上のポニョ」を、10年ぶりに見る、機会がありました。

過去に見た時は、主人公のポニョが、ただ単に可愛らしく、また、もう一人の主人公、そうすけの家族も、少し変わっているなあと、思った記憶がある、程度でした。

しかし、久しぶりに見てみると、ポニョの仕草は、幼い子供としてリアルで、本当に可愛らしく、人間に成りたての、天真爛漫な姿は、我が家の、自由気ままな末娘（3歳児）のようで、驚きました。そして、風変わりな、見えた家族も、互いを信じ、支え合っている、素敵な家族だったのだと、感じました。

このような、最近の出来事で、気付いたのは、きっと、私自身の物事を見る目が、以前とは、変わったのだろうということです。

現役時代は、なかなか試合でよい結果を、残せないこともあり、なぜOGの方々が、実際にコートに足を運んでまで、こんなに応援してくださるのか、理解しきれないところも、ありました。

しかし、今回、このような機会をいただき、離れたところから、眺めてみて感じたのは、先輩方も卒業後、色々な経験を積み、現役時代とは、また違った思いで、応援してくださっていたのかも知れないなど、ということです。

一昨年、50期生は、寝屋川高校北水会主催の、卒業後20年目の同窓会でしたが、出席者のリストをざっと見ても、ハンド部は、私だけだったように、記憶しています。

私自身もそうですが、仕事に、家庭に、育児に等々、今、人生で一番忙しい時期を迎えている、世代ではないかと、思います。

そのため、なかなかハンド部OGとして、貢献が難しい時期かと思いますが、一息つけるようになった時に、何らかの形で、お返しできればよいなど、思います。

最後に、今回寄稿のお話を受けて、一番悩んだ、次の方への指名ですが、いただいたリレー伝言板のルールと、「出席番号順」という、ザ・スクール形式！！で、男性なら50期生の阿部君、女性なら49期生の佐藤文子先輩に、お願いできればと思います。

よろしくお祈りします。



59期 久保 春香（旧姓、服部）

マネージャーだった私の、赤星先生との思い出

59期女子マネージャーの、久保（旧姓：服部）春香です。60期マネの、ふゆちゃんから、バトンを受け取りました。

私は、就職で、東京へ行き、数年働いている間に、結婚・出産をし、昨年、地元の枚方に、戻ってきて、今は、2歳の娘と、毎日のんびり、過ごしています。

私が、ハンド部に、入ったきっかけは、同じクラスだった、部員のめぐちゃん・サッキーに憧れて、+他の部員の子達とも、仲良くなり、皆と一緒に、部活してみたいな〜と、思ったからです。

ただ、運動神経が、あまりよくないので、選手になる事は、考えておらず、最初から、マネージャー志望でした。

ところが、私は、身長が165cmあり、体格も良かったので、赤星先生（7代目顧問）に「マネージャー?!、選手やれ！」と言われ、一度、体験入部させられました。

しかし、たった1日の練習に、参加しただけで、へろへろになってしまったので、どうしても、マネージャーがいいと、改めて懇願しました。

そして同時に、こんなに大変な練習を、毎日頑張る皆の、サポートをしっかりやろう！と、決心し、所属していた、美術部を辞めて、1年の冬から、入部しました。

ハンド部に入って、一番驚いたのは、どんな日でも、赤星先生が、ハンドコートに、現れることでした。

中学の時の、部活の顧問は、試合の時か、試合前にしか、姿を見せなかったのですが、会議で遅くなっても、出張帰りの忙しい日でも、必ず、顔を出してくださる赤星先生は、本当に部活が、好きなんだな、そんな先生が、見てくれるハンド部員は、幸せだな〜と、思っていました。

マネージャーの私に、先生が、とやかく仰ることは、ほとんど無かったのですが、一度だけよくやった！と、褒められた事が、ありました。

それは、私たちの代が、大阪ベスト4になった時の、中央大会の、組み合わせ抽選会のことです。

本来、抽選には、部長が行くものだと思いますが、選手達には、少しでも練習してもらいたいという、先生の意向で、マネージャーの私と、先生で、抽選会に参加しました。





私が引くのは、2回戦であるシード校が、全国優勝もしている、私立の高校か、公立の箕面高校かの、どちらかになるかという、場所のくじ引きでした。

どちらも、強豪校ですが、ほんの少しでも、勝って、上に行ける可能性があるのは、もちろん箕面高の方。

引く前にも、先生に「箕面のほう、引けよ！」と、軽くプレッシャーを与えられ、ドキドキしながら引くと、見事箕面高との対戦が決まりました。

あの時は本当に先生、めちゃくちゃ喜んでたなど、今でも、覚えてます。

中央大会では、1回戦は、なんとか勝ち進み、2回戦の箕面高校は、やはり公立の強豪校なので、苦しい試合展開でした。

それでも、全員で最後の最後まで、粘って、勝利を掴み取った瞬間は、本当に、最高でした。

力を出し切った、選手の皆の姿が、誇らしかったなあ…と、今でも、覚えてます。

あともうひとつ、先生との思い出が。

部活とは、全然、関係ないのですが(笑)。

3年の時の2月14日、入試前で、自由登校の期間でしたが、たまたま、学校に用事があり、ついでに、ハンドコートにも寄ろうと、思いました。

ちょうど、バレンタインデーだったので、コンビニで、チョコを買って、赤星先生に、挨拶がてら、渡した時に、「高3のバレンタインに、チョコレートくれたんは、嫁さんと、お前だけや」と、笑って言われたことは、今でも、忘れられません！(笑)

赤星先生、いつまでも、お元気で、いてくださいね！

バトンですが、同じ59期の後藤く〜ん！、もしくは、大好きな、58期の橋本曜先輩！、お元気ですか？、よろしければ、お願いしますー！！



67期 高橋 大地

67期の、高橋 大地です。

現役時代の思い出は、やっぱり、怒られまくった、思い出が強いです。



高校時代の僕は、部活以外の私生活でも、よく怒られました。

成績は悪く、授業も、永遠に寝続け、提出物もださない、そんな過ごし方をし、よく体育教官室

に、呼び出されました。

こんな僕も、今では、社会人として、働き始めました。

今、僕は沖縄で、診療放射線技師として、働いています。

学生の頃は、適当な性格だったので、いろいろな先生方に、君には、医療系には、向いてないよと、よく言われましたが、社会人として、働き始めて、色々なことが学べ、そして、あの時、怒られていたことが、なんとなく、わかった気がします。

診療放射線技師は、技術職で、やっぱり、その技師の技量によって、画像は異なります。

綺麗な画像を、撮影するには、知識と技術が、必要です。

あまりうまく、撮影できなかったときは、どうして、撮れなかったのか？、どうしたら、撮れるのか？と、考え、勉強し、次に、活かさなければなりません。

部活動でも、同じことで、ミスしたプレーを、追及せずに、流して、プレーしていたから、怒られていたんだと、今なら、そう思えます。

今、現役で、頑張っている人たちは、これを意識して、部活に励み、部活動を通して、考える力を、学んで欲しいと思います。

最後に、堀川先生(8代目顧問)、現役の頃は、クソガキで、よく面倒かけて、すみませんでした。

僕も、ちょっと大人になったので、今、沖縄にいるので、あまり顔、出せないですが、顔を出したときは、ご飯でも、連れていってください。(笑)

次の寄稿は、67期の仲野美乃里さんに、お願いします。

前回の担当でしたが、投稿できず、申し訳ございませんでした。



70期 出口 萌菜美

70期キャプテンだった、山本さんから、引き継ぎました、同じく70期の、出口 萌菜美です。

ハンドボール部に、入ったきっかけは、もともと、私の母が、高校生の時に、赤星先生(7代目顧問)の元で、ハンドボールをしており、何回か、見に行かせていただく機会があり、その頃から、ハンドボールに、興味があったからです。

そして無事、寝屋川高校に合格し、仮入部1日目に、ハンドボール部に、入部しました。

今思っても、めちゃめちゃ早い、決断でした。(笑)

1年生の、夏頃までは、ポストとして、プレーしていましたが、ゴールキーパーが、辞めてしまい、赤星先生の勧めもあり、ゴールキーパーに、転向しました。

今でもあの時、ゴールキーパーになって、よかったなと思っています。

私たちの代は、元々10人でしたが、だんだん、みんな辞めていき、最終的に、5人になりました。

後輩の力を借りて、試合をしなければならない、状況になってしまいました。

いくら同じチームメイトでも、先輩・後輩の関係なので、プレーしている時も、気を使ってしまうことが多く、また、私自身、怪我が多く、辛いことも、多かったです。

ですが、最後の堺大会で、予選や練習試合で、負けていた高校に勝って、優勝できたことは、本当に、いい思い出です。

卒業してから思うのは、やっぱり、寝屋川高校のハンドボール部に、入ってよかった、このメンバーで、3年間やり遂げられて、よかったということです。

今、私は大学で、数学の教師になる勉強をしながら、部活でラクロスをしています。

ラクロスでも、もちろんゴールキーパーをしており、ハンドボール部時代に培った、メンタルや、あきらめない力、また、コミュニケーション力を活かして、頑張っています。

私たちの大学は、先輩・後輩関係なく、試合に出ます。

やっぱり、初めは先輩に、気を使ったりしていましたが、ハンドボール部時代の経験を活かして、最近は、先輩とのコミュニケーションを、大事にとるようにしています。

これからも、ラクロスと勉強を、頑張りたいと思います！！

また、今年の1年は忙しく、ハンドボール部に行ける機会が、少なかったため、時間を見つけて、ハンドボールをしに、行こうと思います。

その時は、現役、先生方、よろしくをお願いします。

拙い文章でしたが、読んでいただき、ありがとうございました。

次は、私の後輩の、71期の山本みなみさん、お願いします！





- ① 「会員通信、リレー伝言板」は、OB・OGの皆さんを、大体10年単位で8グループに分けて、皆様に、近況や、ハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を、自由に語っていただき、日頃疎遠になりがちな、先輩、同期、後輩へ、リレー形式でつないでもらっています。
(現在、3代目顧問・中出先生時代の3～15期の第1グループは、休止となっています。)
- ② また、掲載された内容についての感想、コメント等(字数制限なし)を、別紙、会員だより(連絡票)で、あなたの熱いメッセージを、お寄せください。(事務局・20期寺西)
会員の皆さんに紹介し、会員相互間の親睦の輪を、繋げていきたいと思っています。
- ③ 今回のリレー伝言板の記事で、次号指名された方には、次号会報発行前にOB・OG会事務局より、原稿依頼の連絡を、させていただきます。
次回は、あなたが指名されるかも・・・。

< 編集後記 >

- ① 現在、2019女子ハンドボール世界選手権が、11月30日(土)～12月15日(日)の予定で、22年振りに、熊本県で開催されています。
インターネット情報ですが、BSテレビ J SPORTSで放送予定です。
2020東京オリンピックの前哨戦の、世界一流の試合を見る、チャンスです。
- ② 2019年、5月令和改元、7月京都アニメーション放火殺人事件、9月ラグビーワールドカップ日本開催、9・10月台風首都圏・東日本災害、10月消費税10%へ引き上げ、10月吉野彰氏ノーベル化学賞、10月首里城火災と、吉凶色々ありました年でした。
来年2020年は56年振りの東京オリンピック、平和裡にオリンピックを楽しめる年でありますことを、願うところです。
- ③ 現在、OB・OG会会報を、今回郵送しました住所に送っています。
住所変更された方、変更予定の方、又、現在親元・実家の方で、今の住所に変更してもいい方、同封の会員だよりで、事務局・20期寺西啓三まで、お知らせください。

〒573-0013 枚方市星丘4丁目12-8

携帯番号 090-5887-8777

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp